

東京2020オリンピック

ホッケー日本代表に横田高校出身者6名が選出

日本ホッケー協会は、6月7日、東京2020オリンピックのホッケー日本代表選手を発表し、横田高校出身者6名が選出されました。

これを受け、本町では9日に役場仁多庁舎で激励式を行いました。選手は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、オンラインでの出席となりました。会場の仁多庁舎には、丸山県知事、選手のご家族のほか、多くの来賓を迎えるとともに、選手の指導に携わった先生方など関係者が集まりました。

丸山県知事は、「これまで多くのオリンピック選手を輩出してこられたのは、昭和57年のくにびき国体の際に、奥出雲町にてホッケー競技が開催されたことをきっかけに、地元の方々が地域に根ざした取組を進めてきた大きな成果です。今回のオリンピックでも、6名の代表者が選出されたことは、島根県民にとっても大きな誇りです。」と選手に激励の言葉をかけました。その後、町民の皆様が選出されたことは、島根県民にとっても大きな誇りです。」と選手に激励の言葉をかけました。その後、町民の皆様が選出されたことは、島根県民にとっても大きな誇りです。」と選手に激励の言葉をかけました。

この応援メッセージ入り国旗は、男女それぞれのチームに届けられます。

サムライジャパン(53年振りのオリンピック出場)

さくらジャパン(5大会連続出場)

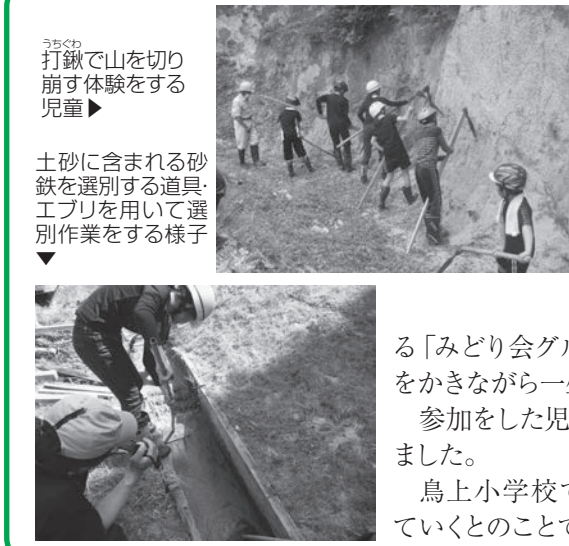


選手の方々にオリンピックへの意気込みを語っていただきました。

<p>田中 世蓮選手 (MF) 所属: 岐阜朝日クラブ</p> <p>昨年度からの延期は残念でしたが、この1年間しっかりと練習しました。皆さんに勇気と感動を与えられるプレーをします。</p>	<p>膳棚 大剛選手 (DF) 所属: 天理大学ベアーズ</p> <p>これまで支えてくれた皆様への感謝の気持ちをメダルを取ることと伝えたい。コロナや豪雨で大変な中、スポーツの力で勇気と元気を与えられるよう頑張ります。</p>
<p>山崎 晃嗣選手 (FW) 所属: 岐阜朝日クラブ</p> <p>広島出身で、町民の皆様を支えられ横田高校において、3年間有意義に過ごしました。夢であるメダルを目指して頑張ります。</p>	<p>落合 大将選手 (MF) 所属: LIEBE 栃木</p> <p>一生に一度あるかないかの自国でのオリンピックが、コロナ禍の中ですが、開催される事に感謝し、自分らしく、楽しくプレーします。</p>
<p>福田 健太郎選手 (FW) 所属: 岐阜朝日クラブ</p> <p>今の自分があるのは、支えて下さった多くの皆様のおかげです。自分のできるプレーを精一杯します。</p>	<p>錦織 えみ選手 (DF) 所属: コカ・コーラ レッドスパークス</p> <p>今回は、2度目のオリンピックとなります。1勝もできなかった前回大会の悔しさを忘れず、皆さんからの応援を力に代えて全力でプレーします。</p>

写真提供: 公益社団法人日本ホッケー協会

鳥上地区で児童が鉄穴流しを体験



6月10日、鳥上小学校の5・6年生6名は、竹崎にある鉄穴流しの再現場所で、農村文化の伝承活動に参加し、鉄穴流しを体験しました。鉄穴流しとは、たたら製鉄が盛んに行われていた時代に、鉄の原料である砂鉄を採取するため、山々を切り崩し、水流の力を利用して砂と砂鉄に選別する方法です。現在、鉄穴流しは行われていませんが、砂鉄を採取した多くの跡地は、棚田に造成されています。

この先人たちが築いてきた奥出雲の景観や文化・知恵を後世に継承しようと鳥上地区農地・水・環境保全管理協定の構成員である「みどり会グループ」が指導を行い、児童は、重い打楯を使って山を切り崩し、汗をかきながら一生懸命、砂鉄を採取しました。

参加をした児童は、「初めてで難しかったけど、しっかりできた」と嬉しそうに話しました。

鳥上小学校では、今後も引き続き、ふるさと教育の中で、地域への理解を深めていくとのことです。

奥出雲町と明治安田生命保険相互会社との健康増進に関する包括的連携協定 締結式

町は、健康増進に関する包括的連携協定を明治安田生命保険相互会社と締結し、その締結式が7月1日に役場仁多庁舎にて行われました。この協定締結は、松江、出雲に続き、県内3自治体目となります。

締結式には明治安田生命松江支社の瀬戸支社長と勝田町長が出席し、それぞれ協定書に署名、調印をしました。

この協定は、双方が連携することにより、地域のニーズに迅速・適切に対応し、町民の皆様の健康増進や町民サービスの向上を図ることを目的としています。

主な連携事項は、①高齢者・健康づくり支援に関すること、②結婚・出産・子育て支援に関すること、③産業・観光振興支援に関すること、④その他健康増進に関することです。

瀬戸支社長は、今後について、「高齢者の皆様の健康支援や自然豊かで特産品が豊富な町の観光振興に尽力していきたい。」と話されました。



地域医療連携推進法人「雲南市・奥出雲町地域医療ネットワーク」設立

雲南市と奥出雲町が、地域医療連携推進法人「雲南市・奥出雲町地域医療ネットワーク」を設立し、6月29日に雲南市チェリパホールにて設立式典が行われました。



同ネットワーク設立の背景には、雲南圏域における深刻な医師不足があります。2019年に厚生労働省が発表した人口10万人あたりの医師数を示した「医師偏在指標」で、雲南圏域は、全国335区域中333位であり、「医師少数地域」に分類されています。

このようなことから、市町を越え、圏域内での医療提供体制を強化し、住民が安心して暮らせるまちをつくることを目的として設立されました。

今後、同ネットワークでは、病院職員の相互派遣、医療機器等の共同利用、周産期医療の支援体制整備、小児救急の協力体制構築、在宅医療の相互連携などに取り組むこととなります。

にっぽん縦断 ころろ旅 お手紙募集

NHK-BSプレミアムで放送予定の「にっぽん縦断 ころろ旅 (2021秋の旅)」では、みなさんからのお手紙で旅のルートを決定するため、下記の12府県の「忘れられない場所・風景」にまつわるお手紙を募集しています。

- 訪問する府県 ●長野、岐阜、滋賀、京都、鳥取、島根、山口、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄
- 島根県の放送予定 ●10月25日(月)～29日(金) ●応募期限 ●9月6日(月)
- 応募内容 ●住所、氏名、電話番号、性別、年齢、思い出の場所、風景にまつわるエピソード
- 応募方法 ●①番組ホームページ <https://www.nhk.or.jp/kokorotabi/> ②FAX 03-3465-1327
- 郵送 〒150-8001 NHK「にっぽん縦断 ころろ旅」係

山田文子さんに三成広域交番連絡協議会から「鍵かけ100%推進大使」を委嘱



三成広域交番連絡協議会は、鍵かけによる盗難等被害防止を図るため、鬼の舌震内で飲食店「舌震亭」を営む山田文子さんに「鍵かけ100%推進大使」を委嘱しました。

6月2日に、鬼の舌震で行われた委嘱式には、三成広域交番連絡協議会の松原会長や三成広域交番の平田交番番長らが参加しました。

令和2年には、町内でも車内から貴重品を盗難する車上ねらいが3件発生していることから、山田さんは、鬼の舌震の来訪客に対し、チラシを配布しながら車やバイクへの鍵かけを呼び掛けます。

委嘱期間はロックの日である6月9日から山田文子さんが100歳を迎える令和4年1月16日までです。

奥出雲町選挙管理委員の改選

奥出雲町選挙管理委員の任期満了に伴い、永年お世話になりました委員の皆様が退任され、奥出雲町議会において、新たな選挙管理委員が選出されました。

●退任された委員の皆さん

- 委員長 糸原 健二さん(三沢)
- 職務代理者 長澤 嘉昭さん(鳥上)
- 委員 重柄 保久さん(亀嵩)
- 委員 植田 生夫さん(八川)

これまで3期12年に亘り選挙の適正な管理執行にご尽力いただきました。ありがとうございます。

●新しい委員の皆さん

- 委員長 響 芳秋さん(阿井)
- 職務代理者 立石 典夫さん(三成)
- 委員 安部 誠さん(鳥上)
- 委員 青木 陽一さん(馬木)

任期は、令和3年6月23日から令和7年6月22日までの4年間です。よろしくお祈りします。